

はぎしん通信

No. 12 (2022年2月号)
水戸市議会議員
はぎや 慎一
〒310-0852 水戸市笠原町 974-31
TEL・FAX 029-241-3105

市議 4 年任期の最終年に向けて



早いもので、市議会議員 4 年任期の最終年を迎えました。今年は 1 期目の総決算の年と位置付けています。そこで、

- ①地域や市民生活の課題解決に手腕を発揮すること
 - ②議会では抜群の質問力と提案力を発揮すること
 - ③水戸市の将来に向けてのビジョンや構想を打ち出すこと
- の 3 点において、実績が示せるよう全力を尽くします。

皆様のご期待に添えるよう頑張りますので、引き続きご指導くださいませう、よろしくお願いいたします。

はぎや 慎一 (立憲みと 代表)

12 月議会 一般質問での水戸市とのやりとり

1. 町内会を支援する「まちづくりコーディネーター」を市民センターに配置しては？

《はぎや》本市の町内会の加入率は、このままだと数年後には 50% を割ってしまう。「みと町内会・自治会カード」の配布などの取組と同時に、町内会の役割の見直しや負担軽減など、本質的な取組が不可欠と考える。

- ①コミュニティ政策の先進都市として知られた日立市では、本年度から市による防犯灯の一括管理や、ボランティアを活用した市報の全戸配布など、政策を大きく転換した。本市の負担軽減策への見解はいかがか。
- ②各市民センターに、町内会の困りごと相談や活動への支援、未加入世帯への働きかけや町内会設立の支援などを専任で担う「まちづくりコーディネーター」を配置してはどうか。

《水戸市》①防犯灯は、設置・交換費用と維持管理費の一部を市が補助しているが、地域に即した設置等が必要なため、今後も今の制度を継続する。市報は、環境の変化等も考慮し、より効果的な配布手法等を検討していく。②地域力の向上が重要であり、今後とも住みよいまちづくり推進協議会と連携を深め、地域づくりを推進する。

2. 「お悔やみコーナー」など受付窓口のワンストップ化を早急に！

《はぎや》①市役所本庁舎における窓口のワンストップ化の取組について、行財政改革プラン 2016 や水戸市総合窓口設置基本計画では、どのような検討がなされたか。また、どのようなことが課題となっているか。

- ②他市においては、テクノロジーとの連携でワンストップ化が図られたり、職員が市民に直接ヒアリングしながら申請書の作成を行う「書かない窓口」の事例もある。すべての手続きを網羅することが難しい場合、「お悔やみコーナー」など一部の手続きのワンストップ化から早急に始めるべきと考えるが、見解はいかがか。

《水戸市》①多くの手続きを 1 か所に集約するワンストップ化は、来庁者が窓口を移動することなく手続きを完結できる一方で、受付・処理時間が大幅に増加するため、他のお客様をお待たせすることになり、総体的な庁舎滞在時間を増加させる懸念もある。そうした課題等を検討した結果、新庁舎の供用開始に合わせ、市民課窓口に住民異動や戸籍の届け出に関する手続きを集約するとともに、庁舎 1 階に福祉や教育に係る窓口を設置した。

- ②「お悔やみコーナー」は、身近な方を亡くされた悲しみの中で手続きをするご遺族の負担軽減につながると思う。多様な先進事例を参考にしながら、本市にあったサービスの検討を早急に進める。



3. 「水戸学の道」のルートとして、水戸駅北口から水戸黄門神社へのアクセス向上を！

《はぎや》水戸城大手門や二の丸角櫓などの整備に合わせ、弘道館・水戸城跡の散策ルート「水戸学の道」が整備されたが、水戸駅北口から徳川光圀公生誕の地である水戸黄門神社、水戸三高前の柵町坂下門までのルートについては、歩きやすさや景観の面で課題も多いことが指摘されている。

- ①市の計画にもある「黄門神社周辺整備」とはどのような事業で、現在、どのような進捗状況か。
- ②このルートは、沿道が都市景観重点地区にも指定されているが、今後どのように魅力向上を図っていくか。
- ③水戸駅北口から黄門神社に向かう際、国道 51 号上の歩道橋も大きな障壁になっている。歩道橋を撤去して横断歩道にしたり、ルートを城東方面の市道に振りかえ、黄門神社前に新たな横断歩道を設置してはどうか。

《水戸市》①黄門神社入口の市道の電線地中化や美装化を行い、黄門像、案内板、水戸城三階櫓の碑を設置した。
②歴史的景観に調和した道路整備を完了した。地区内の建築行為に対し、景観基準に基づき、道路に面する部分の緑化、落ち着いた色彩の外観への誘導を行うなど、道路を含め地区全体をとらえた景観づくりを進めている。
③国道 51 号三の丸 2 丁目交差点は、車の速度が出やすく危険な交差点のため、横断歩道の設置は困難。水郡線踏切の手前の横断歩道を利用した回遊動線が最適と考えられるため、通過車両のスピード抑制策等を検討する。

4. 新市民会館の指定管理は、地域経済活性化のため地元企業グループの手で！

《はぎや》新市民会館については、多くの市民の納得が得られないまま工事が強行され、今回、指定管理者の指定、管理運営に係る債務負担行為 17 億 3,630 万円、立体駐車場建設工事請負契約 9 億 9,000 万円の議案が提出された。指定管理者候補となった事業者は、東京に本社のある(株)コンベンションリンケージだが、管理にかかる経費が安くなった半面、市民雇用率、最低賃金への配慮、地元企業の活用の点数が低いことにも注目される。

- ①候補者が提案した指定管理費は、これまで市が上限額として示してきた金額をどの程度下回るか。また、管理費の財源はすべて市民の血税である一般財源だが、国庫補助金など新たな財源の確保の見通しはあるか。
- ②指定管理の期間を当初は 6 年、その後 5 年としている理由は何か。市民の雇用、地域経済の活性化、税収の面を考え、指定管理期間を短くして、地元企業グループの運営にシフトさせていってはどうか。

《水戸市》①市の積算額 19 億 8,100 万円に対して、約 12%の削減となった。文化施設の運営に関する直接的な国庫補助はないが、ネーミングライツの導入など財源確保に努め、市民負担の軽減を図っていく。

- ②雇用と経営の安定や関係者との関係構築のため、今回の契約期間としている。公募要項において、地域経済の活性化のため、地元企業の活用等に配慮することを掲げており、指定管理候補者の提案においても、協力企業として地元企業が参画するとともに、市内在住者及び出身者の雇用を積極的に推進する旨の計画となっている。

※今回の指定管理者及び管理運営費の議案は、地元雇用を図るとしながらも、働く人達の人件費を大きく削って提示した額であること、コロナ禍で使用制限が出た場合の指定管理料の取扱いや地元企業との契約条件が不明確であり、第三者機関によるモニタリングも図られないことなどが、特別委員会の審議において明らかとなった。また、立体駐車場の工事契約も従来の計画そのままであるため反対した。(賛成 24、反対 4 で可決)。

11月26日(金)1年9か月ぶりに議会前タウンミーティングを開催しました！

コロナ禍が落ち着いてきた中、1年9か月ぶりに会場をお借りして、議会前タウンミーティングを開催することができました。

「あなたの地区のまちづくり」をテーマに、午後の部と夜の部とを合わせて 30 名の皆さんにご参加いただきました。現職の町内会長さんも多かったせいか、特に町内会や地域コミュニティのあり方に関し、活発に議論を展開していただきました。

町内会や地区会の現状と課題に止まらず、子育て世代を巻き込むための方策や、地域の魅力向上による「地域愛」の醸成、シニア世代の方々の経験と知識の活かし方、市民センターの有効活用など、建設的な意見に発展していったことを、心から嬉しく思っています。



3月の議会のお知らせ

3月7日(月)から24日(木)まで開催され、議場のある水戸市役所の8階などで傍聴できます。

はぎや慎一(立憲みと)の一般質問は、3月15日(火)の予定です。

当日は、水戸市議会のホームページで実況中継も配信されます！

🌸皆様のご意見ご要望をお寄せ下さい。新型コロナのご相談も受け付けています！

Eメール s-hagiya@ba3.so-net.ne.jp FAX 029-241-3105